



NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY
University Research Administrators

URAとは？

URAとは、“ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター”の略称で、大学における研究活動の活性化や外部への発信強化などを目的とした新たな職種です。奈良先端科学技術大学院大学(Nara Institute of Science and Technology 以下NAIST)は、平成25年度に文部科学省より“研究大学強化促進事業”の支援対象機関に採択されたことをうけ、研究戦略機構を設置し新たにURAを配置しました。

文部科学省

日本全体の研究力強化を目的に
“研究大学強化促進事業”として
22の研究機関のURA配置を支援

NAIST URA チームの呼称



VISION & MISSION

NAURAは、研究支援だけに留まらず、大学の成長と発展を牽引していく“改革型人材”となって、研究者と一丸となり同じ目線で同じ目標に取り組む事を目指しています。優れた研究や国際競争力がある分野の研究を増強し、時代のニーズや変化にそって研究の活路を見出すとともに、戦略的な“研究環境改革”に取り組む事によって、NAISTが世界に存在感を示す研究拠点となるよう尽力します。



研究者と同じ目線で
協働と協創を行う

- ・研究力の強化
- ・優秀人材の発掘・育成
- ・NAISTブランド力の向上

NAISTの
成長と発展へ

NAURAの 主な活動目的

研究戦略の
策定支援

大学の目指す方向を実現する
研究戦略の策定支援

環境整備による研究者
の研究活動活性化

研究の
活性化

研究推進
体制の充実

研究開発マネジメントの強化
による研究推進体制の充実

VISION

- 教職員と協働・協創し、研究力を強化することによって、世界に存在感を示す研究拠点としてのNAISTの成長と発展に貢献する

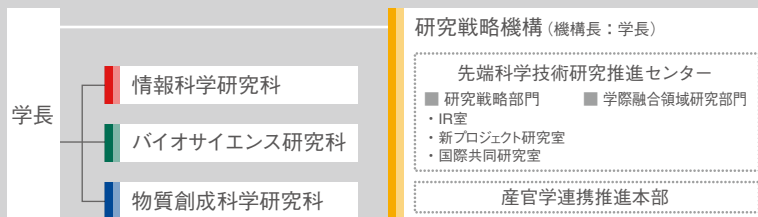
MISSION

- 客観的分析データに基づいた大学改革の基本となる戦略・企画の策定支援
- 外部資金の戦略的獲得支援と国際共同研究のネットワーク強化
- 研究大学強化促進事業における3プログラム、6プロジェクトの進捗管理と運営マネジメント



NAURAの構成と役割

NAURAは研究戦略機構の“研究戦略部門”に配置され、
 ● IR室 ● 新プロジェクト研究室 ● 国際共同研究室
 として、それぞれの役割に応じて業務を推進しています。



IR室

役割 大学運営の指針となるIR (Institutional Research) の機能強化を行い、研究動向、科学技術政策動向、NAISTの研究特性の調査・分析とこれらに基づいた研究戦略・企画の策定支援などを行います。

- ① 研究状況の調査・分析
 - 研究動向および科学技術政策動向の調査・分析
 - 本学の研究特性の把握
- ② 客観的なデータに基づいた研究戦略と企画の策定
- ③ 研究科横断交流および異分野融合研究の促進
- ④ URAネットワークの強化

活動

新プロジェクト研究室

役割 大型外部資金情報収集、申請の企画、支援等のプレアワードを推進します。外部資金獲得においては、戦略的に取組むプログラムの調査と提案を行い、企画段階から関与します。また、研究大学強化促進事業における新プロジェクトの運営支援を行います。

- ① 大型外部資金の戦略的獲得支援
 - 外部資金に関する情報収集と学内への提供
 - 資金獲得に向けた他の研究機関との連携、交流企画
- ② 新プロジェクトの運営支援
 - ▶ 若手研究者発掘・育成プロジェクト
 - ▶ 戦略的研究チーム強化プロジェクト
 - ▶ 先端研究手法導入支援プロジェクト

活動

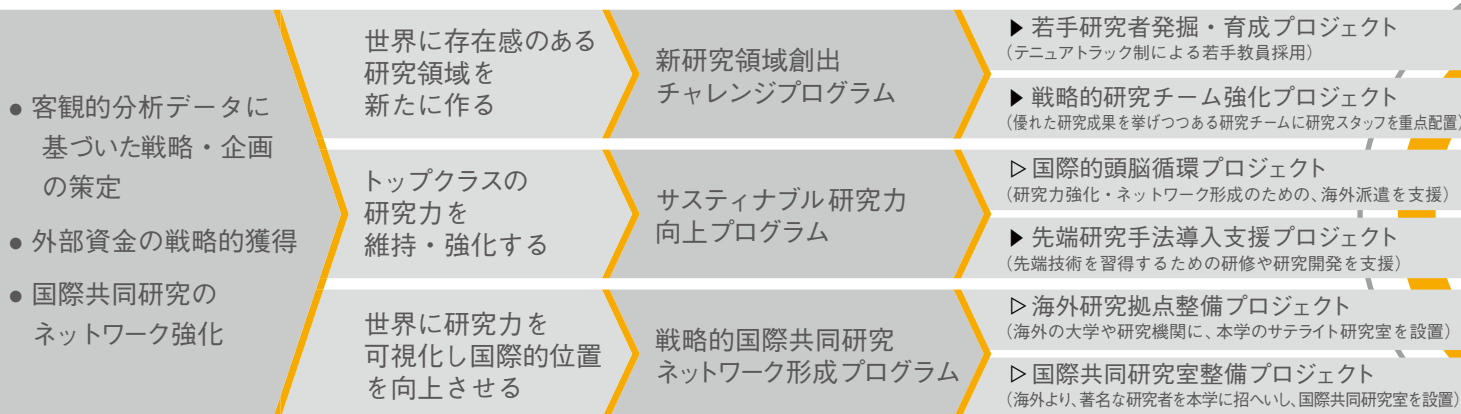
国際共同研究室

役割 国際連携ネットワークの強化、海外外部資金獲得、研究大学としての情報発信を推進します。また、研究大学強化促進事業における国際連携に関わるプロジェクトの運営支援を行います。

- ① 戦略的国際共同研究ネットワーク形成
- ② 国際連携に関わるプロジェクトの運営支援
 - ▷ 国際的頭脳循環プロジェクト
 - ▷ 海外研究拠点整備プロジェクト
 - ▷ 国際共同研究室整備プロジェクト
- ③ 研究大学としての情報発信の強化
- ④ 国際シンポジウムの企画立案から開催まで
- ⑤ 海外外部資金獲得支援

活動

研究大学強化促進事業によるNAISTの新たな取組



研究力強化に向けた
 研究システムの
 改革



NAURAメンバー紹介

NAISTの理念と目標を実現するため、多様なバックグラウンドを持った革新人材が集結しました。

IR室

野島 秀雄

シニアURA 特任教授
nojima@rsc.naist.jp

【最終学歴】 広島大学大学院 工学研究科
博士前期課程修了

【学位】 九州大学 工学研究科 博士 (工学)

シャープ(株)に20年以上技術者として勤務、その後サムスン電子において、生活家電部門の初めての外国人役員として10年間の勤務を経て、2014年2月より現職。私は、シャープ(株)では、材料・デバイスの基礎的研究、革新的家電商品の開発、サムスン電子では、研究開発のマネジメントというように、10年ごとにテーマを設定して仕事をしてきました。今回は4回目の挑戦として、IRを基本にした大学の研究戦略に貢献したいと思っています。

村木 倫子

URA 特任助教
mmuraki@rsc.naist.jp

【最終学歴】 東京医科歯科大学大学院
医学系研究科 博士後期課程修了

【学位】 東京医科歯科大学 医学系研究科 博士 (医学)

慶應義塾大学、奈良先端大、東京医科歯科大学で学生生活を送る中、ERATOプロジェクトにも参加、その後京都大学、米国カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)、理化学研究所での研究生生活を経て、2014年2月より現職。専門は分子生物学・システムバイオロジー・バイオインフォマティクス。アカデミア研究者出身だからこそこの目線で、ここ、奈良先端大を世界に向けた魅力ある大学にするための“起爆剤”となるよう、尽力していきたいと思っています。

新プロジェクト研究室

田中 章

シニアURA 特任教授
atanaka@rsc.naist.jp

【最終学歴】 京都大学大学院 農学研究科
博士後期課程修了

【学位】 京都大学 農学研究科 農学博士

三菱化学(株)の研究開発、事業推進業務を経て、2014年3月より現職。企業在勤中はライフサイエンス分野を担当し、診断事業や創薬基盤研究を推進。アグリビジネスの立ち上げにも従事し、また日本のバイオ産業の戦略策定にも貢献。企業での長い経験を奈良先端大学の研究力向上に生かしたいと思っています。

窪田 道夫

URA 特任准教授
kubota-mich@rsc.naist.jp

【最終学歴】 東京外国語大学大学院
地域文化研究科 博士後期課程修了

【学位】 東京外国語大学 地域文化研究科 博士 (学術)

銀行国際部門、筑波大学知的財産本部、筑波大学附属病院陽子線医学利用研究センターを経て、2014年1月より現職。専門は知的財産、プロジェクトマネジメント、金融、中国経済、中国語。申請書作成からプロジェクトマネジメント、特許戦略、起業とその経営まで一貫した支援が可能。中国語の通訳・翻訳も可能。何でもお任せください。

国際共同研究室

三宅 雅人

URA 特任准教授
mamiyake@rsc.naist.jp

【最終学歴】 奈良先端科学技術大学院大学
物質創成科学研究科 博士後期課程修了

【学位】 奈良先端科学技術大学院大学
物質創成科学研究科 博士 (工学)

英国ケンブリッジ大学教員、国内の半導体装置メーカー、外資系半導体装置メーカーを経て2014年1月より現職。専門は、強誘電体薄膜、材料プロセス工学、化学気相成長法、カーボンナノチューブ、グラフェン。これまでの海外の大学での研究室運営、民間での人材育成の実践経験、外資系企業での国際的マネジメント、マーケティング経験、さらにこれまでの国際的人的ネットワークを原動力として、学内関連部門と協調し、研究力強化の推進支援に務めます。

筒江 紗耶

URA 特任助教
saaya@rsc.naist.jp

【最終学歴】 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
博士後期課程 単位取得退学

【学位】 早稲田大学 経済学研究科 修士 (国際政治経済学)

東京大学大学院在学中、東大GCOE (ゲノム情報ビッグバンから読み解く生命圏)リサーチ・アシスタントを経験。2014年1月より現職。専門はバイオインフォマティクス、機械学習、追及権 (Droit de suite) の法と経済学。

写真: 左から野島 秀雄、村木 倫子、田中 章、窪田 道夫、三宅 雅人、筒江 紗耶

NAURAへのアクセス



所在地: 〒630-0192
奈良県生駒市高山町8916番地の5
(けいはんな学研都市)
TEL: 0743-72-5659 (研究戦略係)
FAX: 0743-72-5194

アクセス: 奈良交通バス…近鉄学研北生駒駅から約6分、高の原駅から約25分、学園前駅から約27分 (高山サイエンスタウン行き乗車、「奈良先端科学技術大学院大学」下車すぐ) タクシー…学研北生駒駅から約6分、高の原駅・学園前駅から約20分



各交通機関
からのアクセス



バス時刻表
(PDF)